

第77回日米学生会議よりご挨拶とホームステイ受け入れのお願い

拝啓

立春の候、天草市の小学校に通うお子様と親御様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、第77回日米学生会議の地方サイトとして、当会議90年の歴史の中で初めて熊本県を開催地の一つに選定いたしましたことをご報告申し上げます。これに伴い、7日間のプログラムのうち3日間を自然豊かな天草市で過ごさせていただきたく、現地でのホームステイ受け入れ先を募集させていただきます。つきましては、下記の通り詳細をご案内申し上げます。

敬具

【日米学生会議について】

日米学生会議は1934年に創設された日本最古の国際学生交流団体であり、日米両国から72名の学生が集い、夏の1か月間の共同生活を通じて日米関係および国際的な課題について議論を行うプログラムです。外務省、文部科学省、米国大使館、一般社団法人日米協会などにご後援いただいております。

【天草市でのプログラムについて】

開催日時：8月8日（金）17時頃～8月10日（日）13時頃

対象家庭：天草市全域

受け入れ学生：日本人1名と米国人1名のバディー1組

募集家庭数：36家庭（日本人学生36名・米国人学生36名が天草市滞在）

使用言語：日本語と英語の双方が可能（日本人学生が通訳の役割も担います。）

謝礼金：一泊一人あたり2500円（1組の受け入れで合計1万円の謝礼金をお支払いいたします。）

【直近の日本側参加者及び米国側参加者の主な所属大学】

日本側参加者	東京大学、京都大学、九州大学、北海道大学、慶應義塾大学、早稲田大学、上智大学、国際基督教大学、防衛大学校、一橋大学、東京外国語大学等
米国側参加者	スタンフォード大学、エール大学、ハーバード大学、カリフォルニア大学、デューク大学、スミス大学、ウィリアムズ大学等

【天草市を選定させていただいた背景】

天草市は、美しい自然景観と豊かな海洋資源を活かした持続可能な観光や地域振興に力を注いでおり、その魅力に惹かれました。天草の文化に触れることで、米国の学生には日本の暮らしを知る機会を、日本の学生には天草に根ざした暮らしを学ぶ機会を提供したいと考えております。また、地域経済・環境保護・地方創生の具体的な取り組みを学ぶとともに、キリシタン遺産を通じて日本と西洋の歴史的な接点について理解を深めることを目的としています。滞在期間中には地元住民の皆様・お子様と日米の学生の交流の場を設ける予定です。天草での学びは、8月13日（水）に開催する熊本サイトフォーラム（肥後銀行本店ホール）および8月19日（火）に東京で開催するファイナルフォーラム（議員会館）にて広く社会に発信いたします。熊本サイトフォーラムにはホストファミリーの皆様をご招待いたします。天草での滞在には皆様のご協力が不可欠となります。何卒、皆様の手厚いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【第77回日米学生会議実行委員の紹介】



【お問い合わせ】

第77回日米学生会議 実行委員会

メールアドレス：jasc77.official@gmail.com